

# 本気で男性の育児休暇取得率アップへの道!

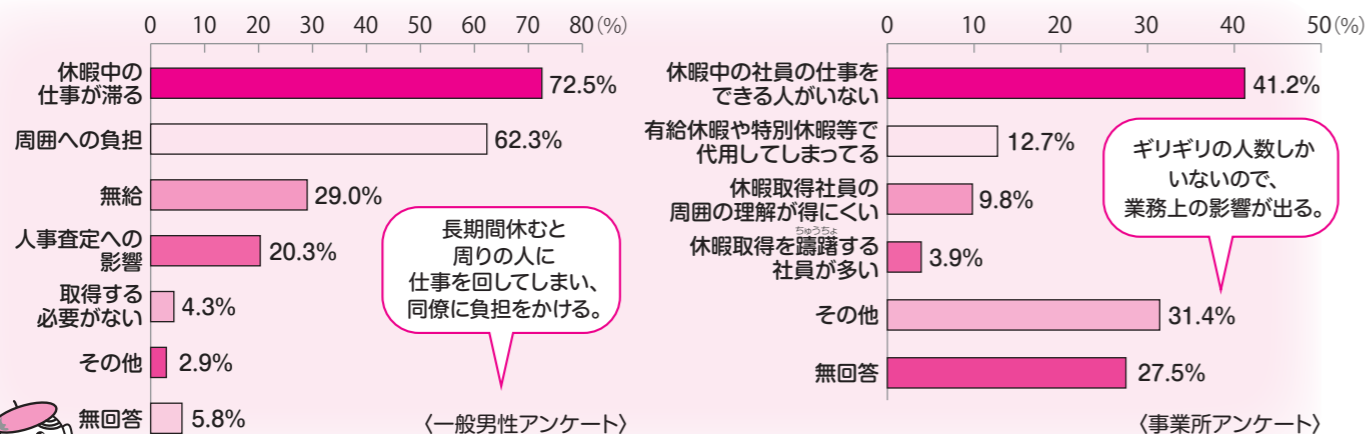


少子高齢化が進み、労働人口の減少が懸念される中、女性の社会進出を促すことが欠かせません。その解決策の一つとして、男性の育児休暇取得率向上が挙げられます。今回パレットは、一般男性(71人) 静岡県男女共同参画社会づくり宣言事業所(102社)を対象にアンケートを行い、その問題点を考えてみました。(平成25年9月実施)

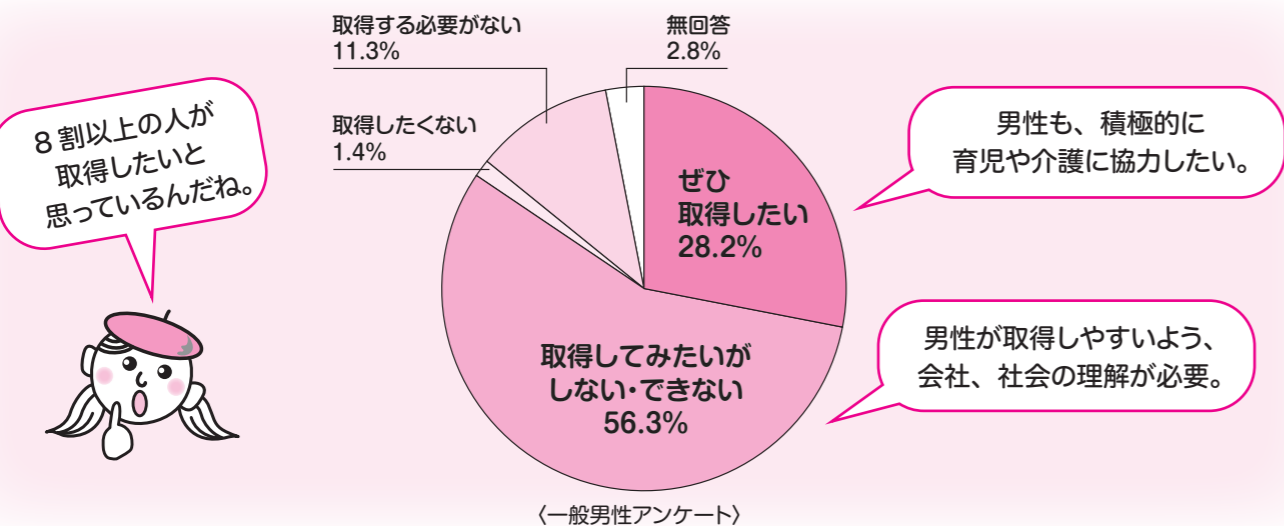
## ちなみに現状は…

**育児休暇取得率**  
男性 1.89% 女性83.6%  
平成24年 厚生労働省雇用均等基本調査

## Q1 育児休暇を1週間程度取得する際の課題は?



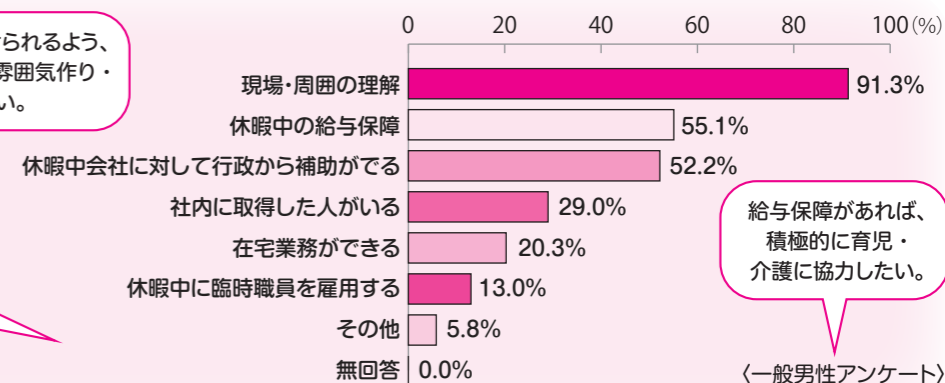
## Q2 あなたは育児・介護休暇制度を取得したいですか?



## Q3 どんなサポートがあると、取得しやすいですか?

育児中・介護中でも仕事を続けられるよう、みんなでサポート・理解できる雰囲気作り・職場環境にしていきたい。

周りの中で休みを取っている人が少ない…



## その他、こんな意見もありました。

### 一般男性

- 仕事をしながらの介護はかなり大変。会社からのサポートがあると本当に助かる。
- 仕事でも気持ちでもサポートしてくれる上司がいれば、心強いと思う。
- 経営戦略の中に好意的に取り入れるべきだ。
- 絵にかいた餅じゃダメ。
- トップダウンで考えていくことが必要。



### 事業所

- 不景気で社員を増員できない。
- 男性自身に、育児・介護休暇に対する認識が低い。まだまだ女性に対応すべきものという考えが大きい。
- 短期であれば対応できるが、数ヵ月というような長期となると、難しい。
- 申し出があれば、何とか対応したいと考えている。
- 資格や技能を要する仕事をしている場合、代わりの人を雇うことも難しく、長期となると、費用の面でも厳しくなる。
- 2日間の特別休暇は、多くの男性社員が取得している。



『一緒に子どもを育てていこうね!』という気持ちで、何より心強い!

## アンケートから見てきた、男性の育休取得への道は

①代替要員を含めての職場対応・雰囲気づくり ②所得補償制度 ③短縮勤務・在宅勤務導入…などを取り入れ課題を改善・推進していくことで一歩ずつ前進できるのではないかと思います。

しかしこの課題を大企業だけでなく、中小企業でも実践していくには、やはり政官民が一体で制度の普及・改善を目指す必要があるのでは。

育休を取ることで、仕事・育児&家事を両立することの大変さを理解し、『一緒に子どもを育てていこうね』という連帯感が、次の子どもの出産を決意し、その結果、少子化対策への道も開けるのではないのでしょうか?

